

### <オリエンテーション>

A. テーマ：宗教と科学の関係論構築に向けて——パネンベルク（1）——

### B. 演習の目的

「宗教と科学」の関係を現代世界の新しい問題連関において解明することは、現代キリスト教思想研究の中心的テーマの一つに他ならない。本年度は、こうしたキリスト教思想研究の動向について、昨年度のモルトマンに続いて、モルトマンと共に現代ドイツを代表する神学者パネンベルクのテキストによって、考察を深めてみたい。

本年度の演習では、この論文集に所収の論文を順番に読み進めてゆく予定であるが、パネンベルク神学、あるいは現代キリスト教思想全般を理解するに必要となる関連事項について、随時補足説明を行う予定である。また、参加メンバー自身の問題意識に基づく研究発表の機会も設けたい。

### C. テキストについて

Wolfhart Pannenberg, *Natur und Mensch ---und die Zukunft der Schöpfung*,  
Vandenhoeck & Ruprecht, 2000.

D. パネンベルク (Wolfhart Pannenberg 1928.10.2 ー, シュテッティーン生まれ)  
ドイツの神学者、組織神学

### 著作

#### 1. 基礎文献

Wolfhart Pannenberg(hg.), *Offenbarung als Geschichte*, Vandenhoeck & Ruprecht, 1961.  
 , *Wissenschaftstheorie und Theologie*, Suhrkamp, 1977.  
 , *Anthropologie in theologischer Perspektive*, Vandenhoeck, 1983.  
 , *Systematische Theologie. Band 1,2,3*, Vandenhoeck, 1988-1993.  
 , *Theologie und Philosophie*, Vandenhoeck, 1996  
 , *Problemggeschichte der neueren evangelischen Theologie in  
 Deutschland. Von Schleiermacher bis zu Barth und Tillich*,  
 Vandenhoeck, 1997.

#### 2. 邦訳 1

『歴史としての啓示』（聖学院大学出版会）、『神の自由と人間の自由』（法政大学出版局）、『形而上学と神の思想』（法政大学出版局）、『近代世界とキリスト教』（聖学院大学出版会）、『現代キリスト教の霊性』（教文館）、『組織神学入門』（日本キリスト教団出版局）、『何故人間に倫理が必要か』（教文館）、『キリスト論要綱』（新

教出版社)、『組織神学の根本問題』(日本基督教団出版局)、『神と自然 自然の神学に向けて』(教文館)

### 3. 邦訳 2

『信仰と現実』(日本基督教団出版局)、『キリスト教と社会倫理』(聖学院大学出版会)、『神学と神の国』(日本基督教団出版局) など

### 研究文献 (日本語)

森田雄三郎 『現代神学はどこへ行くか』 教文館 2005年。

近藤勝彦 『現代神学との対話』 ヨルダン社、1985年。

『歴史の神学の行方 ティリッヒ、バルト、パネンベルク、ファン・リ  
ューラー』 教文館、1993年。

『啓示と三位一体——組織神学の根本問題』 教文館、2007年。

深井智朗 『超越と認識——20世紀神学史における神認識の問題』 創文社、2004年。

芦名定道 「キリスト教思想と形而上学の問題」 『基督教学研究』 (京都大学基督  
教学会) 第24号、2004年、1-24頁。

Alister E. McGrath, Pannenberg, in: Alister E. McGrath(ed.), *The Blackwell Encyclopedia of Modern Christian Thought*, Basil Blackwell, 1993, pp.420-422. (プリント)

## E. 授業 (予習+出席・発表+復習) の進め方

### 1. テキストの扱い方

- ・パネンベルクの論文集は、最初の論文から順番に読んでゆく。一回に扱うテキストは一節程度 (以上) として、段落単位の内容把握を求める。
- ・数年かけて全体を扱う。

### 2. 演習参加者の役割

- ・担当者: (1) 授業前: 読み・訳す・分析する → レジюме作成  
要旨・問題点・補足事項  
(2) 授業での発表: 内容の説明と議論すべき問題の提供  
(3) 授業後: まとめ → プロトコール (前回の確認と補足)
- ・担当者以外: テキストの分析  
議論への参加

### 3. 次回以降: 前期 4/15, 22, 5/13, 20, 27, 6/3, 10, 17, 24, 7/1, 8

今回は、芦名が導入の説明を行い。Vorwort の内容を見る。その後の担当の順番を確定する。

### 4. 関連研究会・演習に関して

#### (1) 演習・研究会「キリスト教思想研究の現在」(月3)

このパネンベルク演習の関連で、研究発表したい人は、こちらの演習・研究会で

発表が可能

(2)特殊講義・前期（火3）は、「宗教と科学」の諸問題を扱う。

<http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/user/sashina/sub5w.html>

(3)研究会「宗教と科学」<http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/christ/science/index.html>

「近代／ポスト近代のキリスト教」

<http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/christ/modernity/index.html>

パネンベルクや「宗教と科学」関係論にも関連した、近現代のキリスト教思想についての共同研究。個人研究発表を中心に。研究成果の刊行。

## F. 成績について

演習担当 → 平常点

レポート（夏期）